

令和2年12月8日

25メートル温水プール利用者の皆様へ

沖縄県総合運動公園管理事務所
所長 福島 誠司

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う温水プール利用休止（12月14日～）について

いつもご利用いただきありがとうございます。

さて、今年に入ってから新型コロナの影響により、本施設においても感染対策をとりながら利用者に安全・安心に利用していただけるよう施設運営を行ってまいりました。

そうした中、本格的な冬を迎え、新型コロナ対策のための十分な換気を行った運営を行うにあたり、換気を行った結果、プール利用者の体温低下に伴う、安心・安全な運営に支障をきたしていること、また、換気を行った結果、水温が低下し、温水を維持するためにはボイラーへの負荷が高くなり、現在のボイラーの機能では、32度の水温を維持し常時運転することが出来なくなってまいりました。

ボイラー1996年製温水時（10月～4月）24年間使用してきたボイラーであり耐用年数は14年過ぎております。

今後につきまして、ボイラーのみならずプール本体も老朽化の為、来年度、県が耐久力検査を行い、屋根やプール本体、配管の検査結果を踏まえ工事が決定されることとなります。

つきましては、今後、現在予定されている大会のみをボイラー稼働とし、フル稼働は温水期間が過ぎ水温維持が出来るようになる、4月より一般開放といたします。

ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、大会関係者の皆様には現在の一般開放時の水温（32度暖房がないために高く設定）維持はできません。プール利用の最低水温（28度）で開放することとなります。ご了承ください。

閉鎖期間 令和2年12月14日 ～ 令和3年4月予定

ボイラー、25mプール現状

本年3月に故障、県担当課に報告ボイラー交換見積書の提出をし、コロナ感染拡大でプール閉鎖の期間もありご存じのように落下の心配のあったプール電灯の交換工事は閉鎖中に行えませんでした。

ボイラーは応急処置として、ボイラー真空部分の抽気ポンプを撤去し、真空にしなければならない部分に水を入れて温水にしております。

熱交換能力は低下し、またすでに真空が取れない状態はボイラータンクに穴が開いている為で断続運転を保障できるものではありません、また、以下の取説にはボイラーに直接水を入れると耐久性を保証しているものではないことが明記されています。

資料 ボイラー取扱説明書

[機種選定と配管施工のご注意] 1.給水管は必ず温水還り管に接続してください。**ボイラーに直接冷水を入れることはボイラーの耐久上好ましくありません。**

